

・・・・・・式次第・・・・・・

- 1 開会のことば
- 2 校長あいさつ
- 3 学校生活について
- 4 中学校一般選抜生海外研修（修学旅行）について
- 5 卒業アルバムについて
- 6 進路指導について
- 7 その他
- 8 閉会のことば

令和 2 年度 福島県立ふたば未来学園中学校

## 第 2 学年 学年 PTA 懇談会

日時・場所 令和 2 年 9 月 11 日（金） 15:30～

みらいシアター ・ Zoom による動画配信

## 令和3年度 中学校一般選抜生海外研修修学旅行（修学旅行）の実施について

### 1. 目的

6年間の中高一貫教育を通じて復興を担う人材育成はもとより、国際的に活躍できるグローバルリーダー育成を目指し、総合的な学習の時間「未来創造学」、学校設定科目「グローバル・スタディ科」等で、地域課題解決のための探究活動を行い、福島魅力を発信する取り組みを進めています。その中学校3年間における学びの成果を、実際に海外で発信して、意見交換する機会を通して発揮させるために実施する。

### 2. 必要費用

生徒一人当たり、100,000円程度を見込んでいます。  
(市町村立中学校での修学旅行費用は60,000円前後)

### 3. 派遣候補地

条件①治安が良い

②時差が少ない

③様々な英語や文化に触れることができる

#### ○アジア圏の国

…母国語として英語を使用していない国同士で英語を用いて交流・協働を行う。

例) 台湾

理由①親日派で日本と歴史的なつながりが深い

②移動時間が短く、時差も1時間と少ない

③温暖な気候と豊かな自然を体験できる

④外国語教育に熱心である

#### ○英語を母国語とする国

…公用語として英語を使用している人々と英語を用いて交流・協働を行う。

例) ニュージーランド・オーストラリア

理由①第一公用語として英語を使用している

②多民族国家であり、様々な文化やいくつかの特徴ある英語に触れられる

③教育水準も高く治安が良い、都市部と自然豊かな郊外の両方の生活を体験できる

④時差が3時間程度と少ない

⑤おもてなし文化を持っており、日本に似て訪れる人に敬意を払う文化がある

### 4. 派遣地決定時期

令和3年4月

### 5. 集金方法

積立にて集金の実施し、東邦銀行口座から今年11月からの引落しを予定しています。  
(10,000円×10回)

# 【御見積書】

## 令和3年度「卒業アルバム」

(「令和元年度入学生」)

## ふたば未来学園中学校様

\*A4Wサイズ

\*表紙 カラー印刷もしくは箔押し表紙

\*全カラー28P

\*「部数」59部

\*「単価」¥14,000 (税抜き) ¥15,400 (税込み)

上記の通り御見積もり申し上げます。

2020年4月1日

Life 代表 林 和久 

## (2021/令和3年度) 未来学園中

～ページ編成表提案書～

表/みかえし)	校舎スナップ
P01～02)	3学年全体集合写真
P03～04)	校歌/校旗/校長/職員
P05～06)	1組個人ポートレート
P07～08)	2組個人ポートレート
P09～10)	クラススナップ1組
P11～12)	クラススナップ2組
P13～14)	部活動/委員会活動
P15～16)	思い出の入学式
P17～18)	その他1年生時の思い出
P19～20)	第4回「双来祭」
P21～22)	その他2年生時の思い出
P23～24)	思い出の修学旅行
P25～26)	第5回「双来祭」
P27～28)	その他3年生時の思い出
裏/みかえし)	学校沿革/編集後記

白台紙/ニュース付き

## 進路指導について

### 進路への接続イメージ

6年間の学びを通して、高い学力、実践的英語力も含めた様々なスキル、人間性を身に付け、海外大学や国公立・私立難関大学への進学を経て「変革者」として社会を牽引するリーダーを育成します。

特色ある4つの学び	中高での学び	想定する卒業後進路	“変革者”として活躍
深い学び・高い学力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語・数学の時数増と、習熟度別学習</li> <li>○ 中学から高校の内容を先取りして学び、演習を重ねて数学的思考力を育成</li> <li>○ PISA型読解力や論理的思考力を育成</li> </ul>	一般受験に対応する高い学力 海外留学 超難関国公立大 医学部 難関私立大 など AO・推薦入試に対応する深い思考力と表現力等	グローバルに考え、世界で活躍する人材
世界に飛び出す学び	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ GS科で実践的英語力を育成(中学で英検準2級、高校で2級以上)</li> <li>○ 複数回の海外研修でグローバルな視野と実践力を育成</li> </ul>		新たなビジョンを示し課題解決をけん引するリーダー
実践力をみがく「未来創造学」	現実社会での課題解決実践と自らの生き方の探究を通して、思考力、協働力、マネジメント力を育成		新たな産業を創出するイノベーター
未来の主人公となる学び	本質を突き詰める哲学対話や演劇、リーダー学を通して創造性、表現力、コミュニケーション力、人間性、リーダーとしての資質能力を育成		地域で持続可能な社会づくりを進めるリーダー トップレベルで活躍するアスリート

#### 【参考】大きく変わる大学入試

2020年度から「大学入試センター試験」が「大学入学共通テスト」に変わり、記述式問題の導入や、英語の「話す」「書く」力の評価が加わるとともに、AO入試、推薦入試を含めた個別大学の選抜においても、高校時代に身に付けた力や活動実績などが多面的に評価される形になります。これによって、入試でも「知識・技能」のみならず、これからの時代を生き抜くために求められる、未知の状況にも対応出来る「思考力・判断力・表現力」や、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」なども問われることとなります。中学・高校の授業も、こうした力を育成していくために主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)の視点からの学び方の改善が求められています。

(中学校パンフレットより)

知・徳・体のバランスのとれた健やかな成長を働きかけていく中で、

### 「深い学び・高い学力」にかかるとの取組

#### 1 学習・学力の現状

##### (1) 学習調査の結果より

###### 【現2年生】

<第1回(令和元年4月実施)>

- ・ 学習時間(平日) 平均65分
- ・ 学習時間(休日) 平均81分

<第3回(令和2年1月実施)>

- ・ 学習時間(平日) 平均79分
- ・ 学習時間(休日) 平均112分

##### (2) 学力の状況

学年G T Z分布「S1～C3」

## 2 学校・生徒・家庭と共有したい目標

### (1) 家庭学習目標時間を全学年で週14時間以上

- ・ 中高一貫校として「平日100分、休日180分」としたいが、通学スタイルが多様なので、週あたりの合計時間として提示していく。

### (2) 学力推移調査：GTZ「S1～B2以上」（高校進学時）

GTZとはベネッセで用いている学習到達度のレベルを表す数値で、私たちは、この数値を拠り所に進路実現に向けた取組を進めています。将来の選択肢を増やし、やりたいことが見つかった時に、そこに進めることができることを目指しています。高校でもGTZを伸ばすことはできますが、中学校でB2以上を目標とします。

	学習到達ゾーン GTZ	位置づけ	合格の狙える大学群（国内進学時）
S	S1	超難関大学レベル	東京大・国公立大学医学部 東北大・東京工業大・一橋大 早稲田大・慶応大・国際基督教大
	S2	難関大学レベル	
	S3		
A	A1	難関大学可能レベル	筑波大・千葉大・東京学芸大・横浜国立大 東京農工大・上智大・東京理科大・明治大 青山学院大・立教大・中央大・法政大・学習院大
	A2	国公立大・ 中堅私立大レベル	
	A3		
B	B1	国公立大・ 中堅私立大可能レベル	独協大・國学院大・明治学院大・日本大・東洋大 駒澤大・専修大・東京農大・国士館大
	B2		
	B3	挑戦レベル	
C	C1	4年制大学挑戦レベル	
	C2		
	C3		

### (3) 各種検定

- 英語に関する検定：高校入学時に、CEFR-A2レベル（英語検定準2級）40%
- 数学検定：高校入学時に、3級以上80%、準2級20%
- 論理言語力検定：高校入学時に、3級合格80%

## 3 主な取組

### (1) 個に応じた指導の充実

上位層向けの発展的な学習、不安を抱えた生徒への基礎基本に特化した補充学習の実施

### (2) テストを活用した指導の充実

- ① 定期考査 ⇒ 補充・発展学習の実施
- ② 学力推移調査 ⇒ GTZ推移掌握、補充・発展学習の実施
- ③ 校内学力テスト = ①と②の隙間を埋める自作テスト ⇒ 補充・発展学習の実施

### (3) 生活習慣の検討・改善

- フォーサイト手帳を利用して、自己マネジメント（管理）力を高められるよう支援していく。

- ・自分の生活パターンを見直す。
- ・学習時間と、学習以外の時間にどのくらい時間を使っているのか。
- ・どの教科に、どのくらい時間をかけて学習したのかの見える化する。

⇒日々の「計画」→「振り返り」→「計画」を繰り返すことで、**見通しを立てて生活する力を身につけさせていく。**

○ 学業（授業）を大事にする生活

- ・ 学業に関すること > 部活動
- ・ 高校は、欠席（授業出席）状況が、単位取得に響く

〈参考〉内規「授業の開始後15分経過後に入室した場合及び授業に15分以上参加しなかった場合、欠課と認定する。」

内規「75%以上の出席により、単位を履修したものと認定する。」

(4) 生徒の学習を支える取組

- 定期的な「進路希望調査（将来の職業種、高卒後の進路、大学・学科名）」の実施
- 進路や学習方法に関する講演会等の実施
- キャリア教育の充実
- リーダー学の実施
- 各種検定・コンクールへの積極的な参加

4 家庭でご協力いただきたいこと

- フォーサイト手帳の確認
- 基本的な生活習慣「早寝・早起き・朝ごはん」
  - ・寮生に対して朝学習を実施したところ授業に向かう姿が向上しました。
- スマートフォン、タブレットの使用について